

インフルエンザの 予防接種を受けましょう

毎年12月から3月にかけてインフルエンザが流行します。今年も、11月から予防接種が始まります。特に高齢者や小児は、重症化や合併症を引き起こす場合もあるため、予防接種を受けられることをお勧めします。



岩美病院 内科
田中佳都代

インフルエンザと“かぜ”（普通感冒）の違い

インフルエンザと“かぜ”（普通感冒）とは、原因となるウイルスの種類が異なり、通常の“かぜ”（普通感冒）はのどや鼻に症状が現れるのに対し、インフルエンザは急に38～40度の高熱がでるのが特徴です。さらに、倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状も強く、これらの激しい症状は通常5日間ほど続きます。また、気管支炎や肺炎を併発しやすく、重症化すると脳炎や心不全を起こすこともあり、体力のない高齢者や乳幼児などは命にかかわることもあります。

日常生活での予防法

日常生活ではまず、体調を整えて抵抗力をつけること、帰宅後うがいや手洗いをする、マスクをつける、人混みを避けるなどウイルスに接触しないことが大切です。また、インフルエンザウイルスは湿度に非常に弱いので、加湿器などを使って室内を適度な湿度に保つことも有効な予防方法です。

ワクチンによる予防

最も確実な予防は流行前にワクチン接種を受けることです。特に、高齢者や心臓や肺に慢性の病気を持つ人、気管支喘息を持つ小児などは、インフルエンザに感染すると重症化や合併症を引き起こす可能性が高いため、ワクチンを接種することが望ましいと考えられます。

ワクチン接種のスケジュール

インフルエンザワクチンは接種してから実際に効果を発揮するまでに約2週間かかります。ワクチンには2回接種と1回接種（中学生以上は1回でもよい）があり、2回接種する場合、2回目は1回目から1～4週間あけて接種します。流行期間が12～3月ですから、11月中旬頃までに接種を終えておくことより効果的でしょう。また、流行してからの接種は、抗体価が十分上がる前に感染する危険性がありますが、抗体価が上昇していれば症状が軽くなります。

インフルエンザの型とワクチンによる免疫

インフルエンザウイルスはA型、B型、C型の3つに大きく分類され、毎年流行を繰り返すごとに変異株がでてきます。特にA型は多くの変異株があり、世界的な大流行を引き起こします。B型も流行があります。C型は軽症のことが多いです。

ワクチンはAソ連型（H1N1）、A香港型（H3N2）、B型の3種類の混合ワクチンですので、新型ウイルスが出現しなければこのうちどの型が流行しても効果があります。しかし、ウイルスの突然変異がある場合は効果が低下する可能性はありますが、近年は予測技術も高まって、実際の流行とはほぼ一致しています。

新型インフルエンザ

インフルエンザのうち、A型のウイルスはヒトだけでなく、鳥やブタ、馬、鯨など他の動物にも感染します。通常はヒトからヒトへというように同種の間で感染し、ヒトが他の動物のインフルエンザにかかることはほとんどありません。しかし、インフルエンザウイルスの遺伝子情報が子のウイルスにコピーされる時に、遺伝子情報が変更され性質が変わる（変異する）ことがあります。変異によって、これまでヒトに感染しな

かったインフルエンザウイルスがヒトへ感染するようになり、さらに、ヒトからヒトへ感染するウイルスが現れる場合があります。このようにして、ヒトからヒトへ感染する新しいインフルエンザが出現した場合を「新型インフルエンザ」といいます。

新型インフルエンザ予防法

予防法は、帰宅後うがいや手洗いをする、マスクをつける、人混みを避けるなど、通常のインフルエンザと同じです。しかし、ヒトは新型インフルエンザの抗体を全く持っていないのでワクチンを接種する必要があります。現在のワクチンは新型インフルエンザには効きませんが、新型インフルエンザに効くワクチンを早期に実用化するために、世界中で研究が行われています。



予防接種を受けることでインフルエンザにかかりにくくなったり、かかっても重症化しにくくなります。しかし、流行した型が違う場合などもあり、100%かからないわけではありませので注意が必要です。地域でインフルエンザが流行している時期に、鼻水や咳、くしゃみなどの前触れなく、急に38～40度の高熱がでた場合にはインフルエンザの疑いがあります。その場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

岩美町国民健康保険 岩美病院運営協議会委員 を募集します

1. 募集人員 4名以内
2. 応募資格 岩美町内に住所のある方
3. 活動内容 運営協議会において事業管理者の諮問等に応じ、病院の経営・運営につき、必要な事項を調査審議します。
4. 活動期間 平成20年11月～平成21年度末
5. 報酬等 なし
6. 応募方法 次の事項を明記の上、下記の宛先まで送付してください。

①応募の動機 ②住所 ③氏名
④年齢 ⑤電話番号

※葉書、封書、ファクシミリ、電子メール、いずれの方法で送っていただいても構いません。

7. 募集期限 10月31日（金）
8. 宛 先 〒681-0003
岩美町大字浦富1029番地2
岩美病院
☎73-1421
FAX73-0028
電子メール pc1@iwami.gr.jp

インフルエンザ予防接種料については 助成制度があります

接種期間は11月1日（土）～12月31日（水）までです。
（ただし、乳幼児は1月31日（土）まで）

高齢者

※接種券を郵送しますので、紛失しないようにお願いします。

対 象 65歳以上の方
接種できる医療機関 東部医師会加入医療機関
接種料金 1,000円 ただし非課税世帯は無料

障害者

対 象 60歳～65歳未満の心臓・じん臓・呼吸器のいずれかに身体障害者手帳1級程度の障害を有する方及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の方
接種できる医療機関 東部医師会加入医療機関
接種料金 1,000円 ただし非課税世帯は無料

乳幼児

対 象 町内在住で、小学校就学前の乳幼児の方
接種できる医療機関 岩美町内医療機関
接種料金 1回の接種について接種費用の1/2（1,000円が限度です。）
（助成方式） 同一年度に2回まで助成
課税状況は関係ありません
注意事項 接種医療機関で領収証明書を発行してもらい、印鑑と一緒に福祉保健課へご持参ください。

問い合わせ先 | 福祉保健課

☎73-1333